令和３年度　３学期始業式式辞

皆さん新年あけましておめでとうございます。

令和４年(2022 年）の新しい年を迎えました。そして、今日からいよいよ３学期が始まります。皆さんは、この冬休みをしっかりと過ごせたでしょうか。休み中も、学校内外で、生徒の皆さんが意欲的に様々活動に取り組む姿を見ることができました。補習や実習、部活動や練習試合、生徒会・家庭クラブ・農業クラブ活動、地域イベントへの参加等、多くの活動がありました。

さて今年 2022 年は、いったいどんな年になるのでしょうか。スポーツの大きな出来事だけを見ると、２月に北京で冬季オリンピックの開催をはじめ、国内外で多くの大会が予定されています。

そして何と言っても、ここ四国・愛媛では７・８月に「令和４年度　全国高等学校総合体育大会」が開催されます。大会愛称「躍動の青い力　四国総体 2022」（伊予農業高校生徒考案）、スローガン「燃え上がれ我らの闘志　四国の大地へ」（徳島県生徒考案）すでに、本校の体育館玄関には、手作りカウントダウンボード「ノム太郎」が開催までの残り日数をお知らせしてくれています。また、昨年末より、県内の学校ホームページを活用し、大会開催までの残り日数表示のカウントダウンリレーが開始されています。皆さんで本大会を盛り上げていきましょう。

ところで、新しい年を迎えると、よく「今年の決意または抱負は何ですか？」と聞かれることがあります。皆さんはどのように答えますか？そこで、「一年の計は元旦にあり」という、よく耳にする言葉があります。これを読み解くと、「計」は計画の計の文字です。元旦は元日の午前中を指します。つまり、「この一年どのような目標をもって、その目標に向かって生きていくかを元日の午前中に決めよ。」ということです。ところが「一年の計は元旦にあり」には続きがあり、「一生の計は少荘にあり」「少荘」とい言葉は、若くて元気な時期のこと。つまり、青年期の今の皆さんを指しています。「一年の計画は元旦に立て、一生涯の人生設計は、今の皆さんの青年期に確立しなさい。」ということです。人の一生は若いうちの経験、学んだ知性、育まれた感性がその人の財産となり、後で必ず役立ちます。一年の「計」はもちろん大切であるのですが、長期の展望である「一生の計は少荘にあり」を胸に刻んで、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。３年生は３月１日の卒業式、１・２年生は３月 18 日の終業式まで残り数日です。充実した日々を過ごさなければなりません。

また、失敗を恐れず、何事にも挑戦する気持ちを持ち続けてください。今は、大きな変化が次々と起きている時代です。大変なことや、先行きに対する不安もあるかもしれません。しかし、変化の激しい時こそ、面白いこともあるし、大きなチャンスもあります。勇気をもってチャレンジする人、粘り強くやり抜く人になってください。

そして、いつもお話ししていますが「学習にしっかり取り組む」「元気で爽やかなあいさつ」の２点はもちろんですが、引き続き、新型コロナの感染防止対策の徹底を図った行動をとり、令和４年が、みなさんにとって、そして野村高校にとって良い年となることを祈念して、式辞とします

令和４年１月 11 日

愛媛県立野村高等学校　校長　松永　　泰